

柳生群だより

8月号



Vol. 93

コート上でのマナー・心得

他のコートの後ろを通る時は必ずそのコートのプレーが途切れてから通りましょう。

プレーしている方は後ろが見えないので、ぶつかると可能性が
あります。また、プレーの妨げになります。

ボールを渡す時は相手がこちらを見て準備出来たら、
相手が取りやすいように丁寧に渡しましょう。

相手がネットの向こう側に居る時は、ラケットで撥して
良いですが、1バウンドか2バウンドで取れるように
しましょう。

試合中のライン上に落ちたボールは「アウト」ではなく
「イン」です。また、コートに入っているか分からない場合は
相手に有利なようにジャッジをしましょう。

足元にボールが落ちている場合はプレーの妨げに
ならない場所に転がしておく等、ルールブックには
掲載されていないこともたくさんありますが、テニスを
する上ではとても大切なことです。

テニスをする時は心掛けましょう。

テニスクイズ

ルールを学んで楽しくテニス

「前回の問題」

相手のサーブがノーバウンドで自分に当たった。

この場合は、自分の得点になるでしょうか？

それとも相手の得点になるでしょうか？

「前回の答え」

相手の点になる。

サーブは必ず1バウンドで返さなければ
いけない。

「問題」

サーブを2回続けてミスすることをテニス
用語では何と言うでしょうか？

*ヒント「○○○ォルト」

前回からテニスの試合の基本的なルールもご紹介
しております。

今回は「デース・ノーアドバンテージ」についてです。

レスン中の試合は別として、テニスの試合では前回

ご説明したように、「0/ラブ」、「15/フティーン」、

「30/サーチ」、「40/フォーティ」と数えます。

ポイントが並んだ時は「オール」を使います。

試合は「0-0(ラブオール)」から始まり、「15-0(フティーンラブ)」

↓「30-0(サーチラブ)」↓「40-0(フォーティラブ)」

とポイントを重ねて、4ポイントを獲得するとゲーム
になります。

もしも「40-40」になった場合は「ファイナルオール」

ではなく、「デース」と言います。

※デースになった場合はどちらかが2ポイント連取

するまでデースを繰り返します。

試合によってはノーアドバンテージの試合があり、その場合は

「40-40(ファイナルオール)」と言い、次のポイントを取った
方がゲームを獲得します。